

東ブータンの土着信仰

ーシャシヨツパの事例からー

渡邊美穂子

同志社大学大学院グローバル・スタディーズ研究科博士後期課程

東ブータンとは？

- タシガン、タシヤンツェ、ルンツィ、モンガル、ペマガツェル、サムドゥプ・ジョンカの6つの県(Dzongkhag)から成る。
- ゾンカとは異なるシャショップ(Sharchop)を母語とするシャショツパ(Sharchopa)が主な民族。

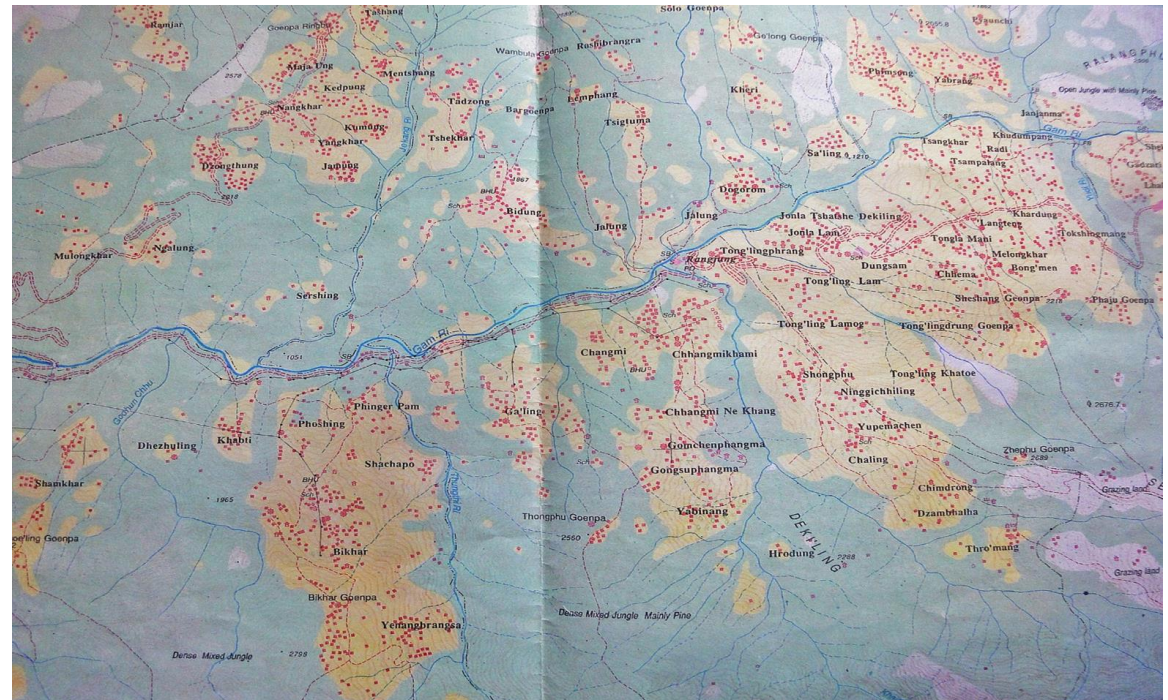
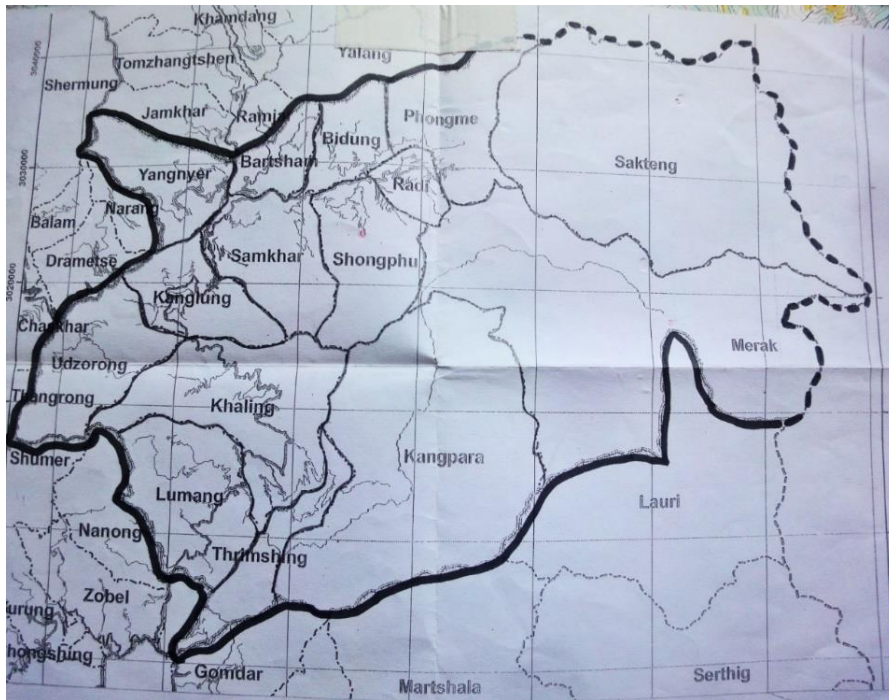
※ Sharchopはゾンカで東の人という意味。東ブータン人は自分たちの言葉をTshanglaloと言う。

- 織物の産地として有名。
→ルンツィ、タシガンのカリンやラディ。
- タシガン県はインドのアルナーチャル・プラデーシュ州と境を接し、ブータンの東端に位置する。



タシガンとはどんなところ？

- 15のゲオク (Bartsham, Bidung, Kanglung, Kangpara, Khaling, Lumang, Merak, Phongmey, Radhi, Sakteng, Samkhar, Shongphu, Thrimshing, Udzorong, Yangneer)から成る。
- 15ものゲオクからなり大規模なため、タシガンの中心から離れているゲオクには、ダウンパと呼ばれる役人が配属され、それらのゲオクとタシガンの中心を結ぶ役割を担う。
→メラとサクテンを統括するサクテンドウンパ、カンパラとティムシンを統括するティムシン
ドウンパ、ルマンとカリンを統括するワムロンドウンパ。



タシガンの街

- 標高1,000m前後、冬場もそれほど冷え込まない。
- 開けた土地ではないので、狭いところに役所、学校、商店、そしてゾン等が集中する。
- タシガンの街の中心には、東ブータンの他のゾンカク(モンガルやサムドゥプ・ジョンカ等)、また、タシガン内の15のゲオクへ行くタクシーが集まる。
- 首都から離れているが、衣類や生活用品はインドからサムドゥプ・ジョンカを経て入ってくるため、物価はそれほど高くない。(例)瓶ビール(Druk11000)Nu.55 (2015年当時)



シャシヨツパとはどんな人々？

- ブムタン以東の東ブータンに暮らすブータン人を主にシャシヨツパと呼ぶ。
- シャシヨツプ (Sharchop) を母語とする。
東ブータンでもルンツィの人々はクルテツプ、
タシヤンツェの人々はチョチャンガチャという
異なる言語を使う。
- 家畜を飼い、農業を営む（酒造や飼料に使われるトウモロコシをたくさん栽培している）。



シャショップという言葉①

- ゾンカ(Dzonagkha)とは異なり、文字を持たない言語。ゾンカとシャショップでは同じ単語も少々見られるが、会話は成立しない。
- 境を接するインドのアルナーチャル・プラデーシュ州の西カメン県では、日常会話に困ることはないほど言葉が通じると言われている。
- ブータンには約20の言葉があるとされている。国語のゾンカ以外で、ネパール語を話せると困ることはないと言われるほど、ネパール語を話せるブータン人が多い。次いでシャショップ。全体に占める人口の割合が大きく、ブータンのどこへ行っても、耳を澄ますとシャショップが聞こえてくる。
- 初対面のブータン人同士が話すとき、まずはゾンカで。ゾンカを話すとその人の出身がわかるのだそう。お互いがシャショッパだと分かれば、それからはシャショップで。

シャショップという言葉②

- 語順は日本語、ゾンカと同じ。日本語と異なる点は、形容詞が名詞を後ろから修飾すること。

例) zamin morab … 美しい女性、かわいい女の子



- 動詞は語幹によって6種類(5種類＋例外)の活用形に分けられる。

活用パターン	動詞原型(未来形)	現在形 (進行形)	過去形	命令形
①shekpa型	Shekpay	shekcha	Shekpa	Shekcho
②yipha型	Yiphay	Yipcha	Yipha	Yipcho
③jama型	Jamay	Jamcha	Jama	Jamsho
④diba型	Dibay	Dicha	Diba	Disho
⑤zawa型	Zalay	Zancha	Zawa	Zai
例外 : opha型	Ophay	Uncha	Opha	Odo

シャショップという言葉③

N	Category	Word (Past)	Pronounce	Meaning (E)	Meaning (J)
1	5	a-wa	アワ	do	おこなう
2	5	phi-wa	フィワ	do	おこなう
3	4	bang-ma	バンマ	curry	運ぶ
4	5	be-wa	ビワ	give (to other)	あげる
5	1	book-pa	ブックパ	cover	包む、ふたをする
6	1	brak-pa	ブラックパ	scold	叱る
7	1	bro goth-pa	ブロ ゴッパ	taste	味見する
8	5	bu-wa	ブワ	take	運ぶ
9	3	cha-ma	チャマ	make up	仲直りする
10	4	chang-ma	チャンマ	play	遊ぶ
11	1	chat-pa	チャッ(ト)パ	cut	切る
12	5	cheerang woo-wa	チェラン ウウワ	urinate	トイレ(小)する
13	5	che-wa	チェワ	plant	植える
14	1	chot-pa	チョッパ	make	作る
15	5	cho-wa	チョワ	stay	住む/滞在する
16	4	chu-ma	チュマ	finish	終わる
17	1	dak-pa	ダックパ	cure	治る
18	1	dam-pa	ダムパ	close	閉める
19	4	dang-ma	ダンマ	walk	歩く
20	3	di-ba	ディバ	write	書く

東ブータンの食「トウモロコシ」①

- 東ブータンの食は、トウモロコシ（シャシヨップでアシュム、アシャム）抜きには語れない。食べて（テンマやカラン）、飲んで（アラやバンチャン）、そして飼料にする。



東ブータンの食「トウモロコシ」②



- 東ブータンのアラのほとんどはトウモロコシから作られる。村へ行くと、お茶よりも先に「アシャムジュース」が出てくる。



- 発酵させた穀物にお湯を注ぎ、濾して飲むバンチャン。インドとの国境の街プンツォリンなどで飲まれているトンパ(シコクビエなどを発酵させたものにお湯を注いで飲む)に似ている。東ブータンのバンチャンに使われるのはここでもやはりトウモロコシ。

東ブータンの食「米」①

- 東の米所ラディでは、7種類 (Wangdi karma, Bondi, Rashu, Sorbang, Sumsum, Phobara等) のお米が栽培されていた (調査時2015年)。
- ラディ米は比較的高く、特に「Sumsum」というお米はNu.90/kg (普通のお米がNu.30/kg) で売られていた (2015年、Kanglung)。



※「sumsum」
シャシヨップで
「いい匂い」という意味。



東ブータンの食「米」②

- 日本の糯米に近いお米を使って「ク テンマ」が作られる。一晩水に漬けておいたお米を炒って（あるいは蒸して、茹でて）少し潰して固める。それを天日干しする。
- 家庭で食べるために作られ、市場には並ばない。



東ブータンの食「リビイッパ」①

- ブロッパたちの大事な収入源で、牛の皮で包まれたチーズ「ブロッパイッパ(イッパ＝発酵した)」。ゾンカではゼテ(ズエテ)、シャルチョップではブロッパイッパと呼ばれている。独特の強いにおいがするが発酵が進むほど美味しいとされ、ブロッパイッパをほんの少しダツィ料理に加えると、味に深みが出て忽ち美味しくなる。



東ブータンの食「リビイッパ」②

- 今やブロッパイッパは高値でタシガンやカリンのバザールで売られている。ティンプーでは、砕いたブロッパイッパを瓶に詰め、お土産として持ち帰ることができるものも売られている。
- 牛の皮に直接値段が書かれ、売られている。
(写真の一番下のイッパには「900」と書かれている。)



東ブータンの食「リビイッパ」③

- 東の米所ラディでは昔、お米とブロッパイッパが物々交換されていた。しかし、互いに交換できるものがない時もあり、イッパの代わりによく食べられていたのが「リビイッパ(リビ＝大豆、イッパ＝発酵した)」。日本の納豆によく似ているが、作り方は異なり、茹でた大豆を藁ではなくバナナの葉で包み発酵させる。



ブータン仏教

- ブータン仏教の主流2派

- ドゥク派(12世紀～)、ニンマ派(8世紀～)

- ※少数派はサキャ派(パロやブータン北部)やゲルク派(メラ、サクテン)等。

- ドゥク派は西ブータンが中心、ニンマ派は東ブータンが中心。

- ボン教(チベット仏教伝来以前の土着信仰、自然崇拝)

ブータンにおける土着信仰

- 仏教伝来以前からその土地に宿る神様を崇拝するもの。それらの神々は山や木や岩など自然物に宿るとされてきた。
→ 自然信仰、自然崇拝
- 仏教の儀式とは別に、土地の神様を崇める儀式が行われている。それはプジャのように各家庭で行われるのではなく、地域で皆が集まって行われ、五穀豊穡や子孫繁栄を願う。
- ブータンには数えられて確認できる範囲で約400もの土地の神がいるとされている[Karma Ura 2004]。

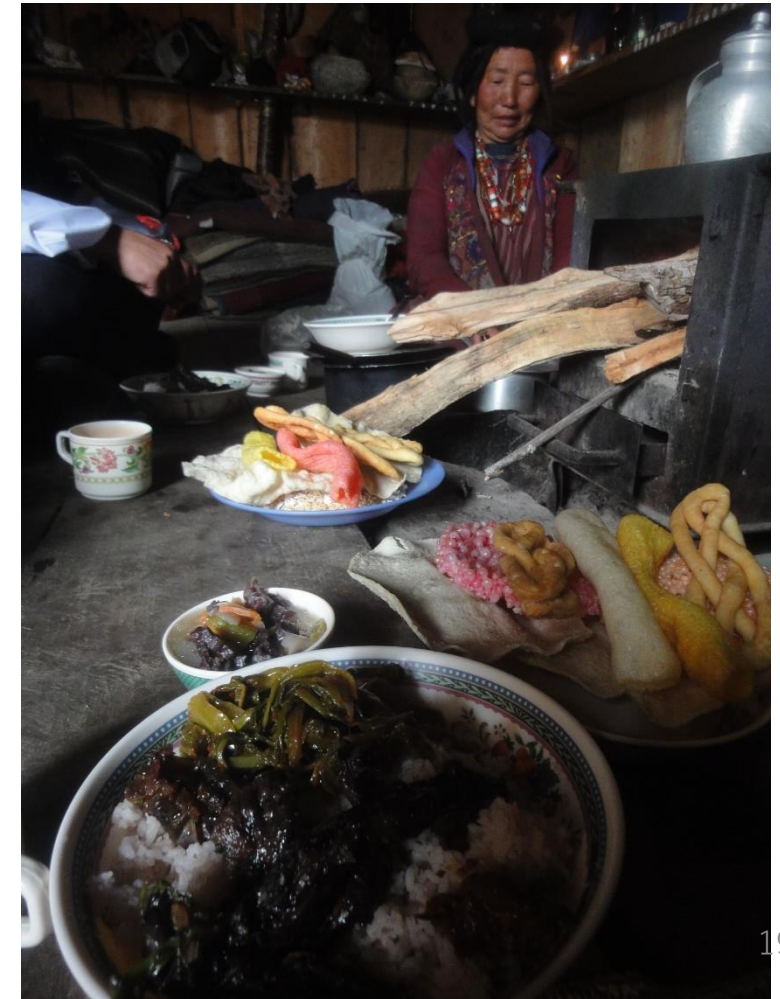
女神アマ・ジョモの場合

- 東ブータンでよく耳にするアマ・ジョモ。各地で祀られ、儀式が行われ、至る所にアマ・ジョモの形跡が残る。アマ・ジョモが乗ってきた馬の足跡(写真1)や、アマ・ジョモが休憩した場所の水が今では聖水(写真2)になっている。
- アマ・ジョモを信仰の対象とする民族ブロツパ(Brokpa)。彼らの祖先はアマ・ジョモと共にチベットからメラ、サクテンへやって来た。



ブロッパ (Brokpa) とはどんな人々？

- アルナーチャル・プラデーシュ州と隣接するメラ、サクテンで、ヤクや羊などを放牧しながら暮らす遊牧民。民族的にはモンパと関係が深い。
- 東ブータン一帯で話されているシャシヨップとは異なるブロッパカ (Brokpakha) と呼ばれる言葉を話す。ゾンカに近く、シャシヨップとは大きく異なる。



調査方法

- 文字を持たないシャショツパ世界で土地の神様として信仰の対象とされてきたアマ・ジョモ。祖先がチベットからやって来たとされるメラ、サクテンのブロツパ以外の人々(シャショツパ)の信仰の対象ともなってきた。
 - 代々親から子、子から孫へと語り継がれてきたアマ・ジョモストーリーの収集。紙に書いてもらうアンケート方式ではなく、直接会って話してもらうインタビュー方式。
- 伝承ではなく形として残るアマ・ジョモ信仰の確認。
 - 地域レベルで行われる儀式への参加。

調査地：ラディ

人口 . . . 5540

世帯 . . . 760

地区 . . . 5 (Radhi, Pakaling,
Kadam, Tokshimang,
Tonglingpam)

村 . . . 17

言語 . . . Tshangla, Khengkha, Bramikha

標高 . . . 1070 - 2800m

寺 . . . 8

(Gewog Administration, Radhi, 2012)



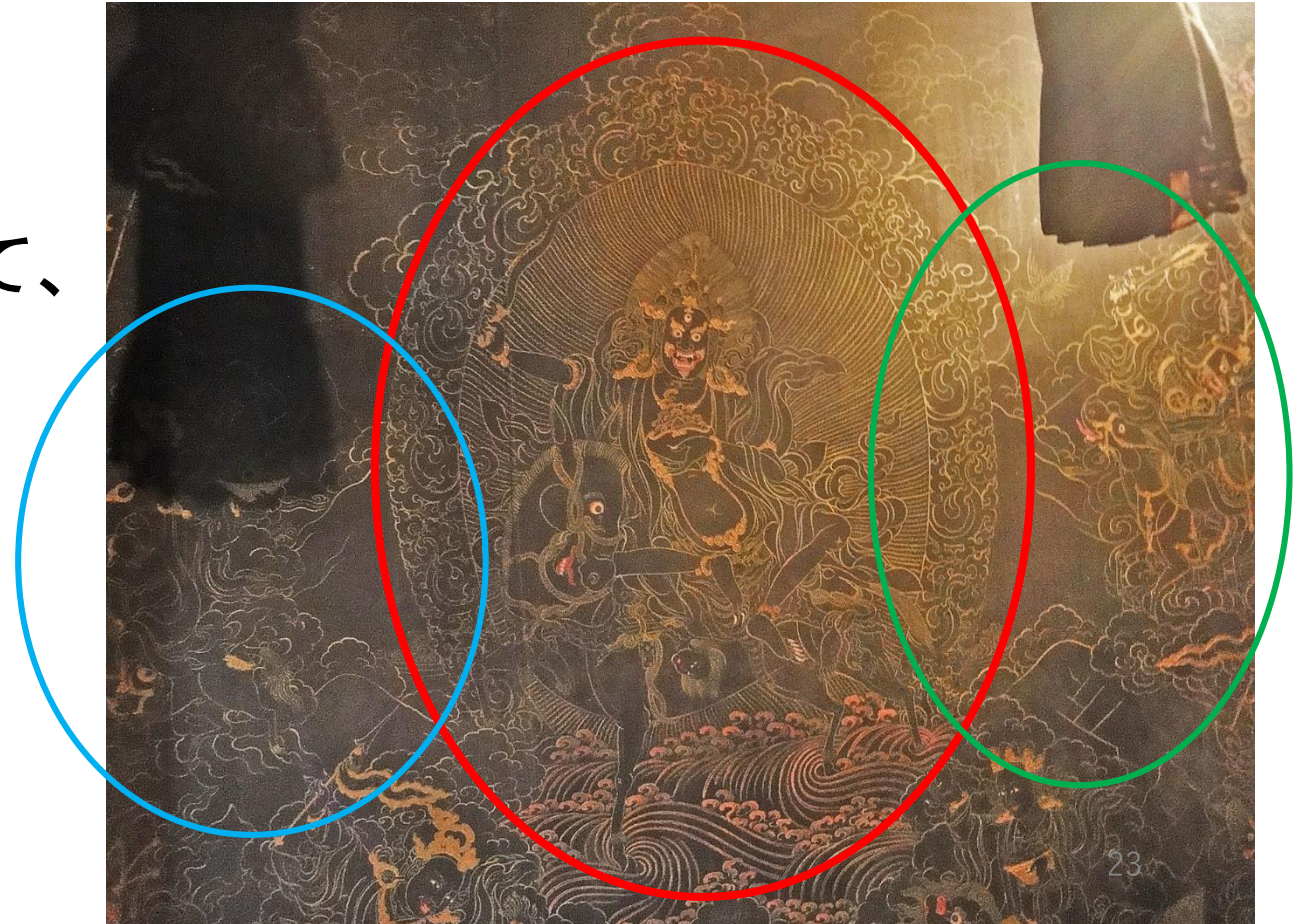
ラディラカンの“ゲンカン(gengkhang)”①

- 土地の神様を祀る部屋は女人禁制。
- 通常ゲンカンはラカンに併設する。ラカンと同じ建物の中にある場合と、ラカンとは別の建物でゲンカンだけ独立している場合がある。



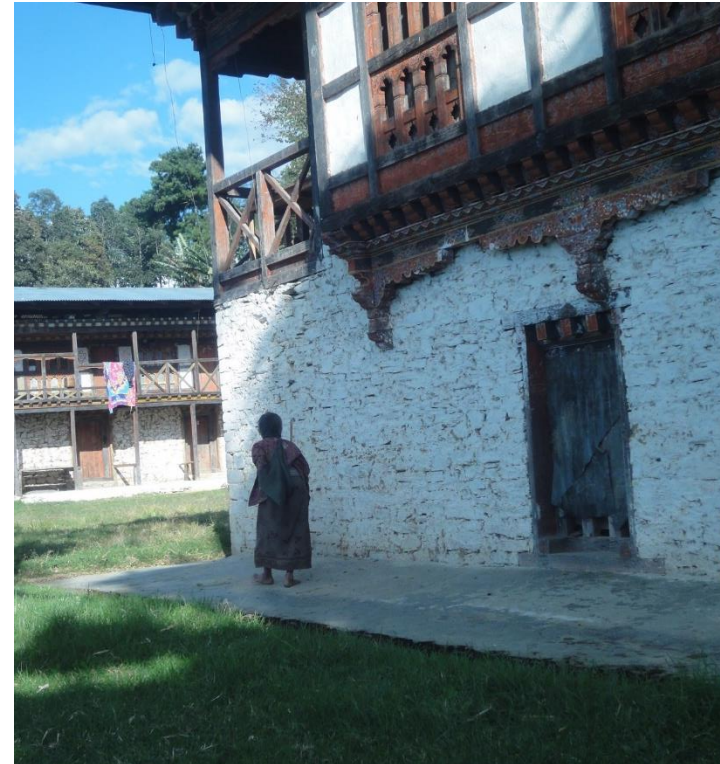
ラディラカンの“ゲンカン(gengkhang)” ②

- ラディにはアマ・ジョモの影響が比較的に濃く残っている。
- ラディラカンのゲンカン(土地の神様を祀るところ、女人禁制)にはアマ・ジョモが大きく描かれている。
- 中央の**アマ・ジョモ**を囲むようにして、
メメ・ラランの裏にある山の神
ツォンツォン・マや、アマ・ジョモ
の弟あるいは夫とされている
メメ・ダンリンが描かれている。



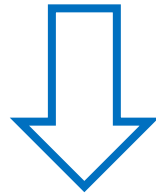
ジョンララカンでの聞き取り

- ラディのジョンララカンで出会った女性（ソナム、70代後半）。
昔、アマ・ジョモを 崇めるジョモ・セカに参加するため、ラディからメラのジョモクンカルへ2度行った、歩いて3日の道程を村の皆と一緒に行ったと話してくれた。



ラディのアマ・ジョモ信仰に見られる特徴

- ラディで収集したアマ・ジョモストーリーの中には、様々な地名が登場する。ブツダガヤ、サムドゥプ・ジョンカなど...
- ラディラカンのゲンカンには、アマ・ジョモを中央に、その隣にラディの山の神様が描かれている。



アマ・ジョモ信仰がラディの地域の中に溶け込み、それと融合し、今に受け継がれている。それを今に伝える主な手段は“伝承”。

調査地: カリン

人口 . . . 5486 (male:2800, female:2686)
世帯 . . . 574
地区 . . . 6
村 . . . 18
標高 (標準) . . . 2300m

(Gawog Administration, Khaling, 2012)

カリンのボカラカン①

- カリンでは、アマ・ジョモとその夫あるいは弟とされるダンリンを祀る儀式が年に一度行われている。儀式の日は毎年ブータン暦によって決められるため異なるが、ジョモ・セカが終わってから7日後にダンリン・セカは行われることになっている。
- Bremang地区のBokha Lhakhangのゲンカンにはアマ・ジョモとメメ・ダンリンが祀られている。



カリンのボカラカン②

- ジョモ・セカ、2015年5月31日（ブータン暦4月14日）
- 僧侶ではなくメメ・ダンリンの直系の子孫と言われているメメ・ドルジによって執り行われる。
- Bokha Lhakhangにはジョモ・セカで使うアマ・ジョモとメメ・ダンリンの衣服や道具など一式が保管されている。



ダンリン・セカ①

- 2015年6月7日（ブータン暦4月20日）
- 毎年ジョモ・セカがボカラカンで行われた7日後、ダンリンツォでダンリン・セカが行われる。
- ダンリン・セカを行うため、前日にはタシガンゾンから僧侶（占星術師）3人がカリン入りし、翌日に備える。
- 豚肉、にんにく、玉ねぎ、たまごなどを食べるとダンリンが怒るので、ダンリン・セカへ参拝へ行く人は前日からこれらのものを口にしない。
- 毎年ダンリン・セカの翌日からダンリンツォは立ち入り禁止になる。
※翌日からではなく、11月から2月までの冬の間という人もいる。

ダンリン・セカ ②

- 湖から少し上がったところに祭壇のようなものを作り、そこにお供え物(ツォツ(ク))をし、読経をする。儀式の後半には皆で湖へ下り、ツォに向かって再び読経をし、カダを捧げる。



ダンリン・セカ ③

- 祈りを捧げていた反対側の岩場へ行き、聖水を汲む。家に持ち帰り、ツォに來れなかった人にあげたり自分たちで飲んだりする。



アマ・ジョモの形跡(カリン)

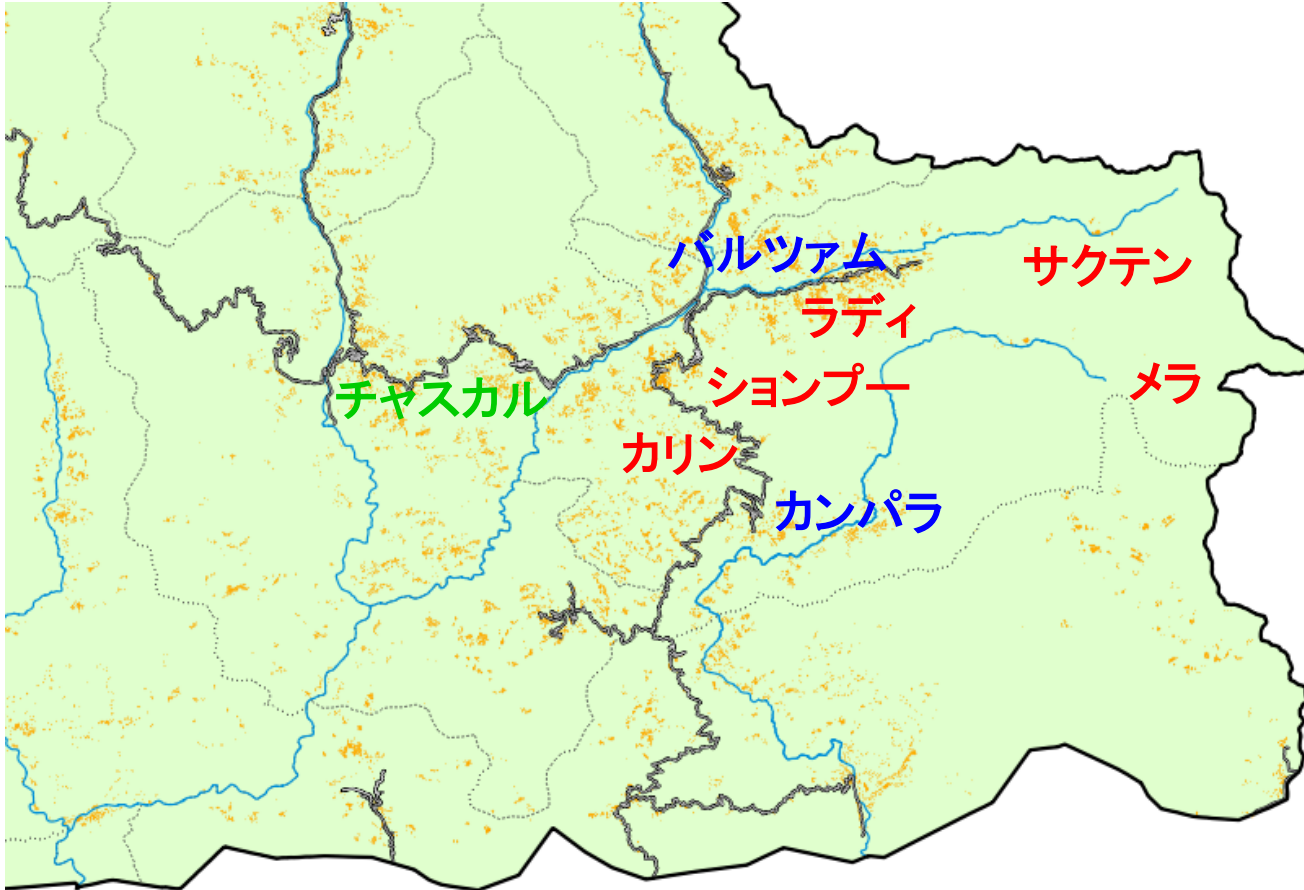
- アマ・ジョモのかまど
アマ・ジョモやメメ・ダンリンがカリンに滞在する際に煮炊きをするときはこの3つの石をかまどとして使っているのだそう。
この3つの石に触れるとアマ・ジョモの強力なパワーで死んでしまうと信じられており、人々はあまり近づかない...。



カリンのアマ・ジョモ信仰に見られる特徴

- ラディでは“伝承”がアマ・ジョモ信仰を今に伝える主な手段であったのに対して、カリンではジョモ・セカやダンリン・セカなどの儀式を行うという“実践”が、信仰を伝える手段となっている。
- メメ・ダンリンの直系の子孫が存在するなど、“伝説”に留まらない。
- メラ、サクテン以外の地域の中では、村をあげて儀式などを行うカリンのアマ・ジョモ信仰が一番強いようである。

アマ・ジョモの影響範囲



- メラ、サクテン、ラディ、カリン、シヨンプーは伝承や儀式への参加などを通して確認済み。すべてタシガン県内。
- バルツァム、カンパラにもアマ・ジョモ信仰があると聞く(その地域の人から直接)が、その形跡や儀式などは未確認。
- タシガン県外では、ウズロン(タシガン)と境を接するモンガルのチャスカル。この地域の人々がカリンのダンリン・セカに参加していた。

タシガン、信仰の事例①

- ジリ(Yongphula, Trashigang)という世帯数13の小さな村にはBraktshanと呼ばれる土地の神様がいる。
- この神様は木に宿り、その木の下には石で祠のようなものが作られていた。
- 年に一度という決められた儀式はないが、人々は毎日のようにお祈りをし、村に災いが起こると祈りが足りないのだ、と話してくれた。



タシガン、信仰の事例②

- ・シャーマン(パオ)

→ベンシンモ(Trashigang)の有名なパオのおじいさん(カルマ、70代前半)。
東ブータン中から人々はやってくる。病気を治してもらうため、
続く不幸を断ち切るため、その理由は様々。



タシガン、信仰の事例②'

- パオに霊が憑依すると、奥さんのサポートのもと儀式は行われる。
- カルマさんはパオを27歳の頃からやっているのだそう。高齢になり、もうそろそろ辞めたいと思っているとも話してくれた。



まとめ、課題①

- アマ・ジョモの力の強さ
 - 昔からの土地神が後から来たアマ・ジョモと戦う、あるいは手を組むというストーリーが多く残されている。
 - 儀式を怠ると災いが降りかかる。
- 仏教伝来以前から根付いていた土着信仰は、仏教伝来以降その守護神としての役割も担ってきた。
- アマ・ジョモを信仰の対象としているのはブロッパだけではない。その信仰はほぼタシガン中に広まっている、あるいはタシガン内に留まらない。
 - ストーリーはバラエティーに富み、メラ、サクテン以外でも土着化している。

まとめ、課題②

- アマ・ジョモ信仰の影響範囲は、アマ・ジョモが昔そこを通ったとされることによって拡がりを見せるが、人の移動と共に信仰が拡がっていく場合も考えられる。アマ・ジョモ信仰をSharchopa世界の土着信仰の一例として扱い、その他の事例も取り上げていく。
- アマ・ジョモについて詳しいのはやはり年配世代（英語はもちろん、ゾンカも知らない、話せない場合が多い）。
 - 東ブータンを特徴づける文字を持たないシャショップという言葉により焦点を当て、東ブータンの地域研究を民俗学的に深めたい。
 - Sharchopaという民族の歴史、ルーツを明らかにする必要性。
 - 彼ら自身の言葉（Shar chop）でストーリーを残したい。

ご清聴、ありがとうございました。

